学校番号	1204

令和５年度　美術科

教科	美術	科目	絵画Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・モチーフをよく観察し、形や立体感、質感を表現する力の向上をめざします。芸術系大学や専門学校に進学する人にも対応できるよう、絵画表現の基礎となる描写力、観察力を高めていきます。
・画材の特徴と道具の正しい使い方を習得し、上手くいかなくても失敗しても、繰り返し挑戦することで、着実に描写力を高めていきましょう。
・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有し、自分の制作に生かすことができるように「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

・絵画に関する学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を育成することを目ざす。絵画表現のそれぞれの表現形式の特性について理解を深めるとともに，創造的な表現と鑑賞に関する資質・能力を高め，絵画表現の可能性を追求する態度を養う。既知の知識や体験を生かし、より創造的な表現と自己表現を追求し、見方や感じが方深まるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造的の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 鑑賞活動やグループワークでの発言内容 完成レポート 鑑賞プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	絵画基礎1	「描くための基礎の基礎①」 ・オリエンテーション 「絵画 B」の学習イメージをつかむ。 ・鉛筆の使い方と線と明暗についてその特性と表現効果について理解する。 ・人物クロッキー ・鑑賞	○ ○ ○ ○	○	○ ○	○	a:鉛筆という画材に関心を持ち,特性を理解し、その効果を活かそうと工夫している。鉛筆の濃淡で表現することに関心をもち、制作に主体的に取り組んでいる。 b:決められたルールの中で、表現の面白さを見出せている。 c:鉛筆の特性を生かし、表現している。線の表情の出し方に工夫がみられる。 d:線の多様な表現、表情を感じ取り、今後の制作に生かすことができる。	・出席状況 ・学習活動の様子 ・制作途中の作品 ・提出作品 ・鑑賞プリント
	絵画基礎2	「描くための基礎の基礎②」 ・デッサン① 球体を描く 立方体を描く 円柱を描く ・デッサン② 2つ以上のモチーフを自分で選び,鉛筆デッサンする ・展示、合評	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:鉛筆等の画材に関心を持ち,特性を活かそうと工夫している。鉛筆の濃淡で表現することに関心をもち、制作に主体的に取り組んでいる。自主的にモチーフを選ぶことができる。 b:形や色彩、質感に注目し、変化にとんだモチーフ選び、構図が探せている。 c:鉛筆の特性を生かし、モチーフの形体、色、質感を表現している。 d:他者の作品の線の多様な表現、描き方、ものの見方などを見つけ、今後の制作に生かすことができる。作品の良いところ、成功したところを見つけ、意見が交換できる。	・出席状況 ・学習活動の様子 ・制作途中の作品 ・提出作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容
2学期	絵画基礎3	「自画像を描く」 ・ポーズを決める ・エスキース ・本制作 水性絵の具・色鉛筆・鉛筆、クレヨンなどの画材から自分のイメージにあわせて選び、表現する。 ・完成レポート	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	a:描画材の違いに関心を持ち、その特性を生かした制作となっている。 b:自分のイメージに合うポーズが選べ、自分らしい表現の方法や配色を模索している。 c:求めるイメージに応じて画材が選べ、目的にあった表現方法で主題が追求できている。 d:自分の作品の主題や想い、効果的な表現の工夫について伝えることができる。自分の作品について理解が深められている。	・出席状況 ・学習活動の様子 ・エスキース ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート

2学期	絵画応用1	「色彩構成」 ・水彩絵の具の使い方 ベタ塗りの技術を知り、身につける。 ・モチーフ(野菜)からイメージして色彩構成してみよう。 「イメージ表現」 ・与えられた詩からイメージを深め、アクリル絵の具を使って自由に表現してみよう。 ・合評	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:水彩絵の具の扱い方と技法に関心をもち、自分の世界を追求しようとしている。主体的にテーマを決め、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:独創的に発想し、イメージが深められている。効果的な構図を探し、配色計画が練られている。 c:ベタ塗りが美しくできている。意図に応じて画材や表現方法を選んでおり、表現方法を工夫して、自己のイメージを追求し表現している。 d:自分の作品の表現で工夫したところや成功しているところを説明できる。他者の作品のよさや表現の工夫を見つけることができ、今後の自己の制作に生かそうとしている。	・出席状況 ・制作の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート ・鑑賞活動の様子や発言内容
3学期	絵画応用2	「鉛筆による想定描写」 ・与えられたテーマをもとにアイデアスケッチ ・エスキース ・中間発表会 相互に意見を出し合い、他者の意見を取り入れながら、さらに良い構図やモチーフなど作品の構想を深める。 ・本制作 中間発表会から多様な表現方法を知り、自分の作品制作に生かす ・合評	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○	a:テーマを基に自分のイメージを追求し、主体的かつ積極的に制作に取り組んでいる。 b:自分の発想を大切にし、効果的な表現の方法や構図を模索している。線での表現方法を多彩に試せている。 c:鉛筆の特性と効果を生かした表現となっている。完成までの時間を考え、計画的に制作が進められている。 d:自分の制作意図や表現の工夫、よさについて理解を深め、他者に説明できる。他者の作品のよさ、工夫されているところなどを感じ取ることができる。作品の良いところ、成功したところを見つけ、意見が交換できる。	・出席状況 ・制作の様子 ・制作途中の作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・提出作品 ・完成レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。